

宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年8月18日発行

— 2016.8.8～2016.8.14—第32週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第29週	第30週	第31週	第32週
水痘	2 0.40		2 0.40			1 0.20	4 2.00	4 0.15	13 0.22	993	○	○	○	○
流行性耳下腺炎	2 0.40			1 0.50			1 0.50	10 0.37	14 0.24	747	○	○	○	○
百日咳	2 0.4				1 0.33				3 0.05	15				
感染性胃腸炎	22 4.40	16 1.60	8 1.60	5 2.50	6 2.00	5 1.00		42 1.56	104 1.76	11,297	◎	◎	◎	◎
手足口病	5 1.00	19 1.90	4 0.80	4 2.00	3 1.00	5 1.00	13 6.50	64 2.37	117 1.98	523	○	○	○	○
伝染性紅斑	1 0.2								1 0.02	290				
突発性発しん	4 0.80	1 0.10	3 0.60	2 1.00	3 1.00	3 0.60	3 1.50	7 0.26	26 0.44	1,033	○	○	○	○
ヘルパンギーナ	67 13.40	56 5.60	28 5.60	37 18.50	19 6.33	24 4.80		111 4.11	342 5.80	1,403	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ	1 0.13							1 0.02	2 0.02	28,056				
咽頭結膜熱		1 0.10	3 0.60			1 0.20		9 0.33	14 0.24	638	○	○		
流行性角結膜炎								1 0.17	1 0.08	82				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9 1.80	2 0.20	6 1.20			29 5.80		13 0.48	59 1.00	7,020	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	8				
無菌性髄膜炎									0 0.00	4				
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	2 2.00			1 1.00	5 1.00	9 0.75	232				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	2 0.40		3 0.60			1 0.20		2 0.07	8 0.14	332				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)			1						1 0.08	14				
拡張疾病														
マイコプラズマ肺炎(小児科)	13		2		1			4						
川崎病						1								
不明発疹症								6						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
○: 発生が少なくなっている傾向

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

大崎管内 男性1名、女性1名
登米管内 男性1名
仙台管内 男性1名、男児1名※

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

塩釜管内 女性2名、男児2名※
腸管出血性大腸菌感染症(O26)
大崎管内 女児1名※
栗原管内 男児1名※
登米管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O121)
栗原管内 男性1名、男児1名※
腸管出血性大腸菌感染症(O不明)
仙台管内 男性1名

4類感染症: 報告なし

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症(*E.aerogenes*)

仙台管内 男性1名
梅毒
仙台管内 女性1名
※男児、女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

【ヘルパンギーナ】

仙南・塩釜・大崎・栗原・仙台管内で警報継続中
登米管内で警報値を超えた

【手足口病】

気仙沼管内で警報継続中

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

石巻管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

気仙沼管内のO26関連 第32週採取分 O26 2件
塩釜管内のO157関連 第32週採取分 O157 3件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第29週採取分 (7.18～7.24)	第30週採取分 (7.25～7.31)	第31週採取分 (8.1～8.7)			
サイトメガロウイルス	1件	1件	0件			
パラインフルエンザウイルス1型	5件	3件	0件			

4. 今週のコメント

【ジカウイルス感染症】

感染症の流行地でジカウイルスを保有する蚊に刺されることにより媒介される、デング熱などと並ぶ蚊媒介性感染症の一つです。主な症状は、軽度の発熱や発疹、目の充血などですが、いずれの症状も軽度であることが多いとの報告があります。蚊からの感染の他、ヒトヒト感染や胎児への影響、ギランバレー症候群との関連も指摘されており、二次感染にも注意が必要となっています。

現在、南米・ブラジルでの流行が目まぐるしく見られますが、アメリカやアジアの一部地域での感染もみられるなど、流行地域は広がっていることが確認されています。流行地域への渡航時には、肌の露出を避け、定期的に蚊の忌避剤(蚊除けスプレーなど)の塗布などを行い、蚊に刺されないようにする他、渡航中や帰国後に疑わしい症状が出た際には早めに受診するなど、二次感染防止に努めてください。

<厚生労働省ホームページのジカウイルス感染症情報>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsusuite/bunya/0000109881.html>

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

